



市民に火の用心を呼びかけパレードするチビっこ消防士たち

その火、その時、すぐ始末 秋の火災予防 幼年消防クラブがパレード

秋の火災予防運動三日目の十月二十六日、市内の幼

年消防クラブの子供達が、市内をパレードして、火災

予防を呼びかけました。この日は、一日消防長の

藤村義男東北電力(株)五所川原営業所長と津軽野保育園幼年消防クラブの鼓笛隊を先頭に、さかえ、三好、まつしま団地など十二のクラブから約三百人のチビっこ消防士が参加しました。

そらいの鉢巻きに法被姿も勇しく「火の用心」とかわいい声を合わせながら一生懸命火災予防を呼びかけていました。

このパレードは、地域防災協会(飛鳴孝英会長)や消防本部とともに行われたものです。

このほか火災予防運動期間中には、消防団防火パレード、防火対象物及び危険物施設の立入検査、中村整形外科病院など四か所で総合消防訓練を行い、市民の防火意識の高揚を図りました。

また、運動期間中に結婚された八組のカップルに、地域防災協会から消火器が贈られました。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協働し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和63年

№675

11-15

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

津軽半島 フォーラム開催

津軽半島の活性化と 新たな発展を目指す

「津軽半島―その伝統と創造」をテーマに、津軽半島フォーラムが十月二十八日、市中央公民館で開かれました。

フォーラムは、津軽半島祭実行委員会(会長・森田市長)が主催し、津軽半島祭の一環として行われたもので、地域の在り方、方向についてさまざまな角度から

新たな発展を目指す

ら話し合い、津軽半島の活性化と新たな発展の方向を探ろうと開かれたもので、半島振興法で同時に地域指定された北海道渡島半島、下北半島をはじめ津軽半島の各地から約三百五十人が出席しました。

開会式では、森田市長が「五所川原においてのみならず、心から歓迎いたします。本フォーラムが契機と

なり、津軽半島地域がより一層発展することを期待します」と歓迎のことは述べ、続いて福岡幹栄県企画部長があいさつを述べました。

フォーラムでは、静岡県立大学経営情報学部の山崎充教授の「地域活性化をどう図るか(津軽半島の明日を展望して)」と題した基調講演が行われました。



活発な意見交換が行われたパネルディスカッション



パネラーの意見発表に熱心に耳を傾ける参加者たち

山崎教授は、湯布院町、池田町、大山町など地域活性化に成功した地区を例に上げ、地域おこしはまず人づくりから強調しました。午後からは、辻茂青森職業訓練短期大学校長をコーディネーターに、小林茂さん(北海道東北開発公庫総務課長代理)、坂下健さん(観光コンサルタント)、小館衷三さん(東北女子大学助教授)、山谷芳弘さん(田川小教頭・画家)、角田周さん(ピアノ教室経営)の五人をパネリストに、また、基調講演した山崎教授を助言者に配してパネルディスカッションが行われました。

まず最初に、これまで東郡、西郡、北五の各地区で検討を重ねてきた地区研究会から問題提起がなされ、これを糸口に各パネリストが意見を出しました。小林さんは「青函トンネルが開通したことで札幌まで日帰りが可能になった。この客に対する観光政策を

図るべきだ」と訴え、坂本さんは「体験観光の設定、コンベンションホールの建設も観光振興のため必要だ」と提言、また、小館さんは「地元を見直し、理解することが大切」と、山谷さんが「各市町村に手づくりの美術館などをつくったらどうか」と、地吹雪ツアーズを企画した角田さんは「まず行動に移すことで何かが変わる」と体験を交えて語りました。

この後、参加者との意見交換があり、最後にコーディネーターの辻校長が①圏域住民の意識革命②自力本願・中央政府依存からの脱却③長期的展望の基盤確立④人材育成第一主義の徹底の四点が津軽にかせられたメインテーマであり、このフォーラムを契機に発想の転換を図り、よりよい津軽半島を形成していきたいとまとめを述べフォーラムを終了しました。

同フォーラムをもって、七月十日から展開されてきた津軽半島祭は全日程を終了しました。

ごしょがわら 産業物産展開く

誘致企業も3社参加

津軽半島ごしょがわら産業物産展が十月二十八、二十九の両日、市民体育館で開かれ、多くの人が出でにぎわいました。

価値をつけて、所得を伸ばす工夫が必要であり、この産業物産展を契機に地場産業の育成を積極的に推進していきたい」とあいさつを述べました。

これは、七月から三回に分けて開催されている津軽半島祭と従前の市農業まつりをドッキングさせたものです。

引き続き、成田守県議会議員、其田実美北地方農林事務所長、川浪重次郎市議会議長が祝いのごとばを述べました。

初日の開会式では、森田市長が「これからの農業は、米やりんこ、野菜を作るだけではなく、それらに付加

この後会場では、農林産物の共進会と直売市、農業センター作物展、五所川原牛肉の試食と即売、生活改

善グループ展、津軽半島及び西北五物産観光展などが開かれたほか、きのこ展示や健康相談、NHK「素晴らしい帰郷」などの各コーナーが設けられました。

今回の産業物産展では、毘沙門地区と依元地区、三好地区、小曲地区から、りんごジュース、ジャム、みそ、タレなど、各地区の特色ある農産物加工品が出品され、好評を得ていました。

さらに、市の誘致企業である「青森ファッション(株)

がハーフコート、ジャケットなどを、また、今回初参加の(株)メンズ・ピアレス」では紳士用ストラックスを即売、「津軽東芝音響(株)」ではテレビやビデオ、ラジオ、CDプレーヤーなどを展示し、人気を集めました。産業物産展の最後には、優良な農林産物等の出品者に対する表彰式を行いました。

最優秀賞及び金賞受賞者は次のとおりです。

▽最優秀賞 (敬称略)

○野菜(いちご)

安田正子(野里)

▽金賞

○野菜

松本和子(トマト・下岩崎)

今春美(きゅうり・浅井)

山形柳子(カリフラワー・田川)

奈良サツキ(白菜・田川)

果樹(りんご)

宮崎輝子(羽野木沢)

平山重一(金山)

○林産物(しいたけ)

間山絃子(若山)

○花卉(菊)

山形隆二(田川)



開会式でテープカットする森田市長(左)、成田守県会議員(中央)、川浪市議会議長(右)



今年は誘致企業が3社参加



農産物加工品の即売



農産物共進会



盛況であった物産展

新たな飛躍を誓うフェイステイバル開く

―勤労青少年ホーム―



大盛況であった展示・即売会

勤労青少年ホーム(荒谷修一館長)の利用者が一年間を通して学んできた趣味

や教養の発表の場である「第十回ホームフェスティバル」が十月二十九、三十の両日、同ホームで開かれ多くの若者達が訪れました。初日は午後六時三十分から開会式が行われ、主催者である菊栄会(ホーム利用者の会)会長の今井誠一さんのあいさつ後、来賓の逆瀬川清巳市経済部長、荒谷館長がお祝いのことばを述べテープカットを行いました。

その後、吹奏楽団のコンサートを皮切りにゲーム、ダンスなどが、また翌三十日は各教室やサークルの作品展示とチャリティバザー、組ひも実演、お茶会、フリーマーケットなどが行われました。

若者達は、二日間にわたってお互いの成果を披露し合いながら楽しく過ごし、十周年の節目を祝うとともに新たな飛躍を誓い合いました。

火災情報をより速く正確に

―地域防災協会―

五所川原地域防災協会(飛嶋孝英会長)ではこのたび、五所川原地区消防事務組合消防本部(開米與左衛

消防長)にテレホンサービス録音再生装置一式を寄贈しました。同協会では、昭和六十年に火災情報(テレホンサービス)二十回線を寄贈し、昨年の利用件数は十万回におよび、火災情報を知りたいという地域住民が非常に多くなっており、テレホンサービスの運用をスムーズに行うため今回の寄贈となつたものです。

この寄贈に伴い、同消防本部では、従前は火災発生時に第一報だけ入力していましたが、これからは第二報、第三報を逐次入力し、地域住民に火災情報をより速く正確にお知らせすることにしています。

またN T T五所川原電報電話局でも混雑の解消のため三十回線を受けています。

火災情報は

③4 二二三二三番です



再生装置に情報を入る録音再生装置

駅に暖かい座布団を寄贈

―身体障害者福祉会―



座布団を取り付ける皆さん

五所川原市身体障害者福祉会(松本一男会長)では十月二十五日、JR五所川原駅(大山一郎駅長)に会員手づくりの座布団三十八枚(うち一人掛け用二十六枚)を贈り、同駅や利用者から喜ばれています。これは、同会が日ごろ社会から受けている恩を少しでもお返ししようと、十年前から実施しているもので

この日、松本会長をはじめ役員など十人が同駅を訪れ、待合室の椅子に座布団を取り付けました。同駅の工藤助役は「この座布団は、利用者から大変好評で、身体障害者福祉会の皆さんの心暖たまる贈り物に本当に感謝しています」とお礼を述べていました。

少年の主張堂々と発表

「昭和六十三年度市少年の主張発表大会」が十月二十七日、働く婦人の家で開かれ、予備審査をパスした市内の小・中学生十三人が日頃考え、感じていることなどを発表しました。

審査の結果は、次のとおりです。(敬称略)

BBS会奨励賞

野呂めぐみ(五小5)

◇中学校の部

市長賞

大橋幸佳(五一中2)

教育長賞

前田めぐみ(五二中2)

学校警察連絡協議会長賞

伊藤真知子(五二中3)

青少年問題協議会長賞

長内香澄(五一中2)、古川敦子(五四中3)、小野

恵喜子(三好中1)

小田切美樹(南小6)

教育長賞

武田宗博(南小5)

学校警察連絡協議会長賞

新谷 勝(東小5)

青少年問題協議会長賞

野呂めぐみ(五小5)、一戸咲子(鶴ヶ岡小6)、福

士華子(中央小6)、白戸

由加(七ツ館小6)

同大会は、市教育委員会、学校警察連絡協議会、青少年問題協議会が青少年の健全育成を願い八年前から実施しているものです。会場には父母や児童、生徒など約百五十人が出席し、発表内容に真剣に聞き入っ

社会福祉にと十万円

国際ソロプチミスト

世界の平和と奉仕のため
に活動を続けている国際ソ
ロプチミスト五所川原(大
村光子会長)では十一月二
日、大村会長と、川嶋良子
歳入委員長、平山節子歳入
委員が市役所を訪れ、社会



森田市長(右)に目録を手渡す大村
会長(右)と川嶋委員長(中央)

福祉に役立ててくださいと
十万円を寄付、森田市長に
目録を手渡しました。
これは、同クラブが十月
三十日に開催した「チャリ
ティダンスパーティー」の益
金を寄付したもので、今年
で三回目となり、関係者か
ら大変感謝されています。

この寄付に対し森田市長
は「皆さんからのこの貴重
な資金は、社会福祉向上の
ため十分活用させていただきます
」とお礼を述べまし
た。

なお、市ではこれを市社
会福祉協議会の福祉基金に
預託しました。

秋の叙勲 本市から1人受章

政府は十一月三日付で、昭和六十三年秋の叙勲と賜杯の
受章者を発表しました。本市関係では、佐々木政規さん(一
市内みどり町・76)が受章されました。



◇勲五等双光旭日章◇
佐々木政規氏(76)

教育功勞
元公立小学校長
市内みどり町三ノ三六

交通安全教室 (3)

自転車もルールを守って安全に



自転車のルール違反による事故が増えています。特におとしよりの事故が目立ち、自転車乗用中の死者2人に1人は60才以上のおとしよりです。

自転車も、バイクや車と同じ「車両」の仲間です。標識、標示を守りルールに従って正しく乗りましょう。



- ▶一時停止の標識のある場所では、必ず止って左右の安全を確認しましょう。
- ▶夜間は、必ずライトをつけ、後部反射器や、反射テープもきれいにしておきましょう。



交通事故発生状況

(五所川原警察署提供/昭和63年10月31日現在)

| 派出所別 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 10月 | 累計(1月~10月) |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------------|
| | 件数 | 死者 | 傷者 | 死亡事故 | 件数 | 死者 | 傷者 | 死亡事故 | 件数 | 死者 | 傷者 | 死亡事故 | 件数 | 死者 | 傷者 | 死亡事故 | 件数 | 死者 | 傷者 | 死亡事故 | 件数 |
| 前 | 12 | 4 | 12 | 37 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 26 |
| 三 | 81 | 4 | 85 | 257 | 13 | 1 | 15 | 257 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 209 |
| 好 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 1 | 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中 | 13 | 1 | 15 | 6,509 | 7 | 1 | 20 | 6,509 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 川 | 7 | 1 | 7 | 1,206 | 1 | 1 | 1 | 1,206 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 門 | 17 | 1 | 20 | 2,744 | 8 | 1 | 12 | 2,744 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 飯 | 8 | 1 | 12 | 231 | 5 | 1 | 5 | 231 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 詰 | 20 | 1 | 23 | 694 | 2 | 1 | 5 | 694 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 松 | 5 | 1 | 6 | 174 | 2 | 1 | 3 | 174 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 島 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 松島団地 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 栄 | 4 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 長 | 23 | 1 | 24 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 橋 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 七 | 10 | 1 | 11 | 1,079 | 1 | 1 | 1 | 1,079 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 和 | 1 | 1 | 2 | 6,509 | 13 | 1 | 14 | 6,509 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 梅 | 13 | 1 | 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 沢 | 4 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 10月 | 26 | 8 | 25 | 241 | 26 | 1 | 27 | 241 | 4 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

死亡事故発生状況

| 発生日時 | 発生場所 | 第1当事者 | 第2当事者 | 状況 |
|----------------|----------------------|--------|--------|---------------------------|
| 63.10.30 17:05 | 福山字広富118-1 国道101号 | 76歳 男性 | 79歳 女性 | 第1は普通乗用で直進中 道路横断の第2に衝突 |

特別障害者手当等の申請について

●特別障害者手当

| 対象者 | 障害の程度 |
|--|--|
| 1. 20歳以上で日常生活に常時特別の介護を要する右記の在宅重度障害者。 2. 障害基礎年金等、障害を事由とする年金の受給者であっても対象になります。 3. 身体障害者療養施設等に入所している場合及び病院等に3ヶ月以上継続入院している場合は受給できません。 | 日常生活に常時特別の介護を要する重度障害者とは国民年金法施行令別表1級程度の障害が重複するもの、又は同程度以上と認められるもの。 |
| 手当額及び支払月 | 支給の制限 |
| 1. 手当額は月額20,950円。 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。 | 本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。 |

●障害児福祉手当

(従来の20歳未満の児童に対する福祉手当の名称を改めたものです。)

| 対象者 | 障害の程度 |
|--|---|
| 1. 20歳未満で、精神又は身体に障害があり、日常生活において常時介護を要する右記の在宅障害児。 2. 肢体不自由児施設等に入所している場合及び障害を支給事由とする年金を受給している場合は対象となりません。 | 日常生活において常時介護を要する障害児とは、身体障害者手帳1級程度(2級の一部を含む)の障害又は特別児童扶養手当1級、愛護手帳「A」程度の障害のうち最重度の障害と認められるもの。 |
| 手当額及び支払月 | 支給の制限 |
| 1. 手当額は月額11,700円。 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。 | 本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。 |

※お問い合わせは市福祉事務所福祉係 (☎2111番内線210番) へどうぞ。

郷土の歴史を 訪ねて

- ▷日時 11月26日(土) 午後1時30分～4時
- ▷場所 市中央公民館
- ▷内容
 - ①研究発表「平山日記について」
佐藤文孝氏
 - ②講演「津軽安藤氏について」
豊島勝蔵氏(市文化財審議委員)
- ▷入場料 無料
- 主催 北奥文化研究会
- 後援 市教育委員会

市文化奨励賞・スポーツ賞 受賞候補者の推薦を

市では毎年、文化やスポーツ活動に優秀な成績をおさめられた方々に対して、文化奨励賞やスポーツ賞を贈り、その栄誉をたたえています。該当する方がありましたら、ご推薦ください。

- ▷表彰対象 五所川原市民または本市に所在する団体で、本年2月20日から昭和64年2月17日までの期間中に文化及びスポーツ活動に優秀な成績をおさめられた方。または永年にわたりスポーツ活動、育成に功労のあった方。
- ▷推薦書類 市教育委員会にあります。
- ▷推薦期限 12月23日(金) (以降については追加推薦してください。)
- ▷推薦及び問い合わせ先 市教育委員会社会教育課 (☎2111番内線250番)
- ▷その他 表彰式は、昭和64年2月18日(土) 午後2時から市中央公民館で開催する予定です。

年末・年始資金

特別保証制度について

県信用保証協会では、年末・年始における県内中小企業者の資金需要に対応するため、年末・年始特別保証制度を実施しています。

- ▷保証金額 1企業につき1,500万円以内
- ▷保証期間 6か月以内
- ▷保証料 年率0.98%
- ▷取扱期間 昭和64年2月28日まで

◎このほかにも、中小企業者の皆さんの要望に即した「当座貸越根保証」や「事業者カードローン保証」などの保証制度も実施しています。

※詳しいことは、県信用保証協会五所川原支所 (☎4121番) へお問い合わせください。

昭和63年度 年末調整説明会

| 月日 | 時間 | 会場 | 対象 |
|-----------|-------------|--------|-----------|
| 11月24日(木) | 13:30～15:30 | 市中央公民館 | 官公庁 |
| 12月1日(木) | 10:00～12:00 | 市中央公民館 | 支店、個人、その他 |
| 12月1日(木) | 13:30～15:30 | 市中央公民館 | 全対象 |
| 12月2日(金) | 10:00～15:30 | 市中央公民館 | 全対象 |

第3回 雪氷防災研究発表会

—国立防災科学技術センター—

- ▷日時 11月24日(木)午後1時～5時30分
▷場所 市中央公民館
▷内容
1. 特別講演「青森の雪」
講師 佐藤幸三郎氏(弘大理学部教授)
 2. 研究発表
 - ①演題未定—盛 五郎氏(弘前土木事務所工事調整官)
 - ②演題未定—山田仁一氏(建設省東北地方建設局青森工事事務所機械課長)
 - ③青森の雪と農業—蔵建治氏(弘大農学部教授)
 - ④弘南バスが関わる雪の活用—葛西日出男氏(弘南バス(株)企画部企画課長)
 - ⑤青森県の地吹雪—佐藤清一氏(弘大医療技術短期大学部教授)
 - ⑥国立防災科学技術センターの地吹雪研究—東浦将夫氏(新庄雪氷防災研究支所雪氷防災第2研究室長)
- ▷入場料 無料

在宅介護教室

—市福祉事務所—

現在、家庭で寝たきりの老人の介護をされている人や、寝たきり老人などを介護するために家庭介護技術の習得を必要とされる人達を対象に、在宅介護教室を開きます。

- ▷期日 12月5日～6日(2日間)
▷場所 特別養護老人ホーム青山荘(金山)
▷経費 無料
▷講習内容 ①日常の介護知識②リハビリテーションの知識③介護者の心構え
▷申し込み締切 11月26日(先着30人で締切)
お申し込みや詳しいことは、市福祉事務所福祉係(☎☎2111番内線210番)へどうぞ。

人権特設相談所を 開 催

- ▷日時 12月5日(月)
午前10時～午後3時
▷場所 丸友デパート2階特設会場
※相談は無料で、秘密は厳守します。

青森職訓短大の 学内公開

市内飯詰にある青森職業訓練短期大学校では、情報システム科の増設や学科の改変整備に伴う校舎の増改築、コンピュータなど最新機器等の整備増強が完了したので、学内公開を行います。多数のご参観をお待ちしています。

▷公開内容

- ①各科実験・実習室の公開
- ②各実験装置の公開
- ③公開講座の開設(1人30分程度)
 - 風力エネルギーと風車(成田敏明先生)
 - 光ファイバー技術の社会構造への影響力(高井秀悦先生)
 - ICを生みだした半導体を科学する(葛西清和先生)
 - CAD/CAMシステムを検証する(山口功先生)
 - 身近の熱問題を科学する(小林崇先生)
 - 北国の住環境を工学する(相澤順一先生)
 - 東南アジアの星シンガポールの社会と産業(佐久間富美夫先生)
 - アジアのNIE Sの旗頭韓国の社会と産業(辻茂校長)

※食堂・喫茶コーナーも開設します。

第11回かっちゃんの アイデア展と 食品ゼミナール

生活改善グループ員が日頃工夫している生活技術と活動を紹介する「アイデア展」と栄養改善普及会による食品の研究、賢い選択のための「食品ゼミナール」を開催します。

市民多数のおいでをお待ちしています。

- ▷日時 12月9日(金)午前10時～午後4時
▷場所 市中央公民館
▷内容
- かっちゃんのアイデア展(作品展示、実演、試食)
 - 食品ゼミナール(しょうゆ)午後1時～4時
 - (1)映画「しょうゆ—きのう、きょう、あした」
 - (2)講話「しょうゆの正しい知識」
 - (3)講演「家庭食を大切に」
- 講師 (社)栄養改善普及会
副会長 望月美喜子氏
主催 五所川原地区生活改善グループ連絡協議会・(社)栄養改善普及会

昭和64年度 看護学生募集 —市立高等看護学院—

- ▷ 募集人員 40人
- ▷ 修業年限 3年(ただし、第3学年は臨床実習とします。)
- ▷ 入学資格 准看護婦(士)で次のいずれかに該当する人。
 - ①免許取得後、3年以上看護業務に従事した人(64年3月で3年就業終了見込みの人を含む)
 - ②高等学校卒業者(64年3月卒業見込みの人を含む)
 - ③高等学校衛生看護科卒業者(64年3月卒業見込みの人を含む)
- ▷ 願書受付期間 12月1日～昭和64年1月18日
- ▷ 願書受付場所 市立高等看護学院
- ▷ 試験期日 昭和64年2月7日(火)
- ▷ 試験場所 市立高等看護学院
- ▷ 試験科目 国語、社会、看護一般、作文、面接

詳しいことは、市立高等看護学院(☎④2715番 布屋町41番地)教務にお問い合わせください。

みんなの健康教室

- ▷ 日 時 11月25日(金) 午後1時
- ▷ 場 所 市保健センター
- ▷ 講 師 佐藤 実先生
(佐藤内科小児科医院長)
- ▷ テーマ 「糖尿病について」
- 主 催 北五医師会・市民保健協議会

俳句

草の穂の乱れ百態休耕田
釣人の背中逞し秋の潮
刈田原野鳥の群れも振り向かず
駅の菊静かにめでおる老夫婦
庭を掃く老婆のかけに小菊咲く
九折忌葛紅く這う古駅舎
打ち上げし蟹の抜けがら秋の潮
村々の絆ふかめて暖炉汽車
風の波野道にのぼる草の絮

津軽鉄道水車吟社

内山 涛村
木村 秀村
木村 清香
三和 千哥
三谷 房子
今橋 菊三
高橋 鉄輪
三和 鉄輪
佐々木 夢衣

12月の保健センター「相談日」

- ▷ 日時 12月2・9・16・23日(毎週金曜日)
の午前10時～午後3時
- ▷ 内容 保健婦が血圧の測定や尿検査を含めた健康相談に応じます。赤ちゃんからお年寄りまで、お気軽にどうぞ。
お問い合わせは市衛生課(☎⑤2111番内線268番)へ。

乳幼児の健康診査

- ▷ 場所 市保健センター
- ▷ 受付時間 12:45～13:00
- ▷ 持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小便に尿を入れてもってきてください。
- ※注意 ①6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口にてセットをもらいにきてください。(ただし生後6ヵ月、7ヵ月児に限る)。
②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんをご遠慮ください。
お問い合わせは、市衛生課(☎⑤2111番内線268、272番)へどうぞ。

| 月令 | 対象児 | 期日 | 内容 |
|--------|------------|-----------|------|
| 3ヵ月児 | S63年8月生 | 12月13日(火) | 健康診査 |
| 6ヵ月児 | S63年5月生 | 12月20日(火) | 健康相談 |
| 1歳児 | S62年11月生 | 12月26日(月) | 健康相談 |
| 1歳6ヵ月児 | S62年6月生 | 12月27日(火) | 健康診査 |
| 3歳児 | S60年6月、7月生 | 12月15日(木) | 健康診査 |

献血にご協力を!

| 期日 | 時 間 | 場 所 |
|---------------|---------------------|---------------------|
| 11月25日 (金) | 午前10時から 午前11時まで | マルカ カサイ駐車場 |
| | 正午から 午後2時30分まで | 日立東部セミコン ダクタ津軽工場 |
| 12月5日 (月) | 午後3時から 午後4時まで | ホテルサンルート 五所川原 |
| | 午前10時から 正午まで | 県合同庁舎 |
| | 午後1時30分から 午後4時まで | 白生会胃腸病院 |

休日・夜間の急病は
 在宅医師の照会は消防署へ
☎34-4999番
 (救急医療部会)